リオンの風

リオン株式会社
証券コード：6823

# 第103期 第2四半期
# 事業報告書

2023.4.1-2023.9.30

CONTENTS


| | | |
|---|---|---|
| トップインタビュー | | 1 |
| **特集1** | 充電式耳あな型オーダーメイド補聴器「リオネット2」を新発売 | 5 |
| **特集2** | ネットワークと「つながる」騒音計で騒音測定の可能性を拡大 | 7 |
| **特集3** | ノルウェーの音響計測器メーカー Norsonic AS をご紹介 | 9 |
| **特集4** | 新任社外取締役インタビュー | 10 |
| トピックス | | 11 |
| 製品別の概況 | | 12 |
| 会社案内 | | 13 |
| 株主メモ | | 14 |
| 残したい“日本の音風景100選” | | 裏表紙 |

**残したい“日本の音風景100選”**

リオンと音風景の関わりについては裏表紙をご覧ください。

代表取締役社長
岩橋清勝（いわはし きよかつ）

# 医療機器事業と微粒子計測器事業が業績を牽引し、上期の売上高・利益は、ともに過去最高を更新しました。

## Q1 上期の業績と通期の見通しについて、お聞かせください。

上期は医療機器事業と微粒子計測器事業が好調に推移し、売上高・利益ともに過去最高を更新しました。

2023年5月に新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行され、3年以上続いた困難な期間の転換点を迎えました。コロナによって生活様式が急激に変化したことに伴い、当社の事業環境はコロナ前と比べ大きく変わりました。

その代表格が微粒子計測器事業です。コロナ前の2019年度の連結売上高は45億円でしたが、2022年度は66億円と3年間で約1.5倍の伸長を見せました。その背景として、世界規模での様々な環境変化が挙げられます。例えば、コロナ前から多くの企業で検討されていた新たな働き方であるWEB会議やリモートワークが本格的に導入されました。また、自然環境に配慮した電気自動車（EV）の開発と普及が進みましたし、人工知能（AI）の進化には目を見張るものがあります。これらに共通することは、半導体が多く使用されていることです。当社の液中微粒子計は、半導体の製造工程で使用される薬液の清浄度を管理するために使われています。半導体需要の高まりに伴い、当社製品の需要もさらに増加するものと予想しています。

次に当社の中核をなす医療機器事業においては、コロナにより人との交流が難しくなったことで、外出をためらう状況が続きました。

## 連結財務ハイライト

■ 第2四半期累計　■ 通期

売上高

営業利益

親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

事業別売上高構成比

■ 第2四半期業績サマリー

| | |
|---|---|
| 純資産 | 27,630 |
| 総資産 | 35,603 |
| 営業キャッシュ・フロー | 2,035 |
| 投資キャッシュ・フロー | △1,324 |
| 財務キャッシュ・フロー | △275 |

| | (百万円) |
|---|---|
| 売上高 | 12,101 |
| 営業利益 | 1,694 |
| 経常利益 | 1,757 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,258 |

■ 通期業績予想

| | (百万円) |
|---|---|
| 売上高 | 25,750 |
| 営業利益 | 3,000 |
| 経常利益 | 3,050 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,200 |

そのため、補聴器販売店での対応や医療機関への販売活動が大きく制限されました。一方で、コロナを経験したことで、人々の健康志向は明らかに高まりました。難聴と認知症の関係性が幅広い年齢層に認識され始めたことで、補聴器の必要性を意識する機会が増えていると感じます。また、企業では、社員の健康管理を促進するために健診の拡充を行うなどの変化が生まれています。これらの動きによって、補聴器ならびに聴力検査で使用されるオージオメータを開発する当社の存在感が増しています。

主な事業の変化を大まかに説明しましたが、通期につきましては、上期の状況が継続することで、事業全体で増収増益を見込んでおります。

## Q2 上期に発売した新製品（補聴器・騒音計）について、教えてください。

上期に、2つの新製品を発売しました。

一つ目は補聴器の最上位モデルであるリオネット2シリーズです。リオネット補聴器で初めてAIを搭載した機種となります。今までは環境音を抑えるために音を圧縮すると、一部の音声も同時に圧縮してしまい、聞こえに違和感が発生する可能性がありました。そこで、膨大な音環境を学習させたAI NR（騒音抑制機能）に音声と音声以外を区別させることで、最適な聞こえを実現しました。これにより、騒がしい場所や様々な音が混在する環境でも、会話の聞き取りをサポートします。

もう一つは、普通騒音計「NL-43」、精密騒音計「NL-53」、「NL-63」です。ネットワークや通信機器との接続を強化したことで、遠隔地における騒音モニタリングをはじめとする騒音測定の業務負担の軽減につながります。海外では騒音測定のリモートモニタリングは一般的な手法となっていますが、国内での普及はこれからです。当社は今後、製品とシステムを組み合わせた包括的なサービスをより一層充実させることで、新たな測定方法を提案してまいります。

## Q3 1年前に買収したノルソニック社について、近況をお聞かせください。

2022年11月に欧州地域でトップクラスのシェアを保持する音響計測器メーカーであるノルソニック社を買収しました。欧米の政府機関・大学を中心とした環境計測市場をはじめ、国内外の建築音響市場等に多くのユーザーを持っています。近年は、欧州で需要のあるクラウドを利用しながら騒音の状態を監視する環境モニタリングシステムが主力製品の一つとなっています。

この1年の動きとしては、当社の技術者がノルソニック製品の開発に加わるなど、両社の協業体制の確立を進めています。また、8月下旬には、ノルソニック社の若手社員数名が当社を訪問しました。お互いの企業風土の理解を深めるとともに、技術交流を行うことで、当社の若手社員とも活発に議論を交わす場ができています。両社の連携を強化し、より大きな成果を生み出してまいります。

## Q4 株主様に向けてメッセージをお願いいたします。

当社は、株主様に対する利益還元を、経営の重要な施策の一つと考えております。2024年3月期の中間配当につきましては、安定的な配当の継続を考慮し、前期と同額の1株につき23円といたしました。これからも事業活動を通じて、社会にとって必要不可欠な存在になるよう取り組んでまいります。株主の皆さまにおかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Special Feature

特集 1

充電式耳あな型オーダーメイド補聴器

# 「リオネット2」を新発売

2023年8月に充電式耳あな型オーダーメイド補聴器「リオネット2」を発売しました。新たに搭載された機能や開発にかける熱い思いをご紹介します。

## より快適で自然な聞こえを実現

「補聴器を使っていることを忘れるほど自然体で毎日を過ごしてもらいたい」という思いを実現するため、当社の最新技術を結集させ、心臓部であるデジタル信号処理ユニット"リオネットエンジン"を一新しました。また、膨大な音環境を学習させたAI※を搭載し、最適な音をお届けします。

※マキシエンス／マキシエンスVのみ搭載

好みに合わせた
2つのカラーをご用意

スモーキーブラック

アッシュブラウン

## 使い勝手の向上

約2.5時間の充電で一日中使用可能な大容量バッテリーの搭載によって、電池切れの心配や電池交換の煩わしさを解消しました。また、スマートフォンアプリ「スマートコントロール2」をダウンロードすることで、細かな音質や騒音抑制などのデジタル機能をご自身で調整※できます。

ご使用される方の日常に寄り添った快適な聞こえを提供します。

※マキシエンス／マキシエンスVのみ使用可能

セルフ調整機能
音質の調整（左）とデジタル機能の調整（右）

### 《 開発者インタビュー 》

技術開発センター
製品・技術開発室 補聴器開発G
山田（やまだ） 新（あらた）

**新製品の開発では、どのようなことを重視したのでしょうか。**

補聴器をお使いになる方が、つけていることを忘れるくらい生活に馴染んだ補聴器を開発したいと思い、より良い聞こえと使いやすさの両面からアプローチしました。その中でも、「自然な聞こえ」にこだわりました。

**今後の抱負について教えてください。**

補聴器を通して、ご家族の会話が弾んだことや日々の笑顔が増えたことなどのお話を聞くと開発の原動力になりますね。人生のパートナーとして、長く愛用していただける補聴器となるよう日々、挑戦していきたいと思います。

# ネットワークと「つながる」騒音計で騒音測定の可能性を拡大

2023年6月にネットワーク接続機能を強化した普通騒音計「NL-43」と精密騒音計「NL-53」、「NL-63」を発売しました。この特集では、日本における騒音測定の成り立ちや意義、新製品の機能、それによって生まれた測定現場の変化をご紹介します。

## 騒音測定とは —音響計測器メーカーのトップランナーとして—

人々の生活を快適に保つために、「音」は重要な役割を担っています。その「音」を測定する騒音計を、当社は1955年に初めて発売しました。当時は戦後の復興期であり、日本各地で騒音が社会問題となっていました。各都市は、次々と騒音防止条例を制定し、騒音公害対策を推し進めてきました。その過程で、各都市の騒音対策や産業衛生の向上等のために当社の騒音計が広く採用されることとなりました。今では騒音計は、法規制に則った騒音測定のみならず、日常製品などの品質管理にも欠かせない存在となっています。

## 新機能のご紹介

### ネットワーク接続機能を強化し、現場の作業負担を軽減

ネットワークとの接続機能を強化したことで、工場内の設備機械などの騒音をオフィスなどの遠隔地からモニタリングすることが可能となりました。測定者が現地で確認する回数を減らすことで、測定業務の負担を軽減することができます。

### 最大4つの条件で同時測定が可能となり、測定時間を大幅に短縮

異なる4つの測定条件を設定して、同時測定を行うことが可能となりました。今までは異なる測定の度に設定変更をする必要がありましたが、そうした煩わしさを軽減し、測定時間を大幅に短縮できるようになりました。

## 測定現場の変化

世界中のどこからでもアクセスすることができるため、オフィスにいながら遠隔地の騒音モニタリングが可能となりました。

事例 1
遠隔地の環境騒音モニタリング
ウェブブラウザを介して騒音計の稼働状況が遠隔で確認できるので、現地に行く回数を減らすことができます。
モバイルルータを使用することで無線化が可能です。

事例 2
工場などの設備機械や敷地境界の騒音監視
監視場所（オフィスなど）などで現場の設備機械や敷地境界の騒音を監視することが可能です。
騒音計のLAN端子とコンピュータをLANケーブルで接続し、コンピュータのウェブブラウザにて騒音モニタリングすることも可能です。

※LAN端子を使用する場合、NL-43/53はNX-43EXが別途必要

Special Feature

特集 3

リオングループへようこそ

# ノルウェーの音響計測器メーカー Norsonic AS をご紹介

2022年11月7日、新たにリオングループに加わった音響計測器メーカーNorsonic AS（以下、ノルソニック）をご紹介します。

ノルソニックの主力製品である
環境モニタリングシステム「NorCloud」

## ノルソニックの成り立ち

1967年、研究機関にて精密騒音校正器を開発したことが始まりです。1980年代に建築音響計測器を、1990年代にはハンドヘルド騒音計を開発するなど、着実に事業領域を広げてきました。現在は、欧米の政府機関・大学を中心とした環境計測市場をはじめとして、国内外の建築音響市場等に多くのユーザーを持つヨーロッパを代表する計測器メーカーとなりました。30名ほどのコンパクトな組織ながら、世界に通用する高品質な計測器を生み出しています。

## 両社の強みを活かして

両社の関わりには30年以上の歴史があります。製品のOEM等を通じて、お互いの強みを活かした事業展開を行ってきました。ノルソニックは、当社と同じように研究機関から始まった会社で、製品開発や品質に対する理念には共通する点が多く親和性があります。ノルソニックとの相乗効果に期待してください。

### 会社の概要

名　　称：Norsonic AS
所 在 地：ノルウェー
創　　業：1967年3月1日
事業内容：音響・振動の測定、環境モニタリングおよび建築音響に関連する機器・システムの開発、製造、販売



Special Feature

特集 4

# 新任社外取締役インタビュー

2023年6月23日開催の株主総会にて、新たに社外取締役が選任されました。
これまでの経歴と今後の抱負について語っていただきました。

社外取締役　高橋（たかはし）　和伸（かずのぶ）

## Q ご自身の経歴についてお聞かせください。

1982年に双葉電子工業株式会社に入社しました。配属は経理部門で財務会計を中心に13年ほど従事しました。会社は1985年に株式を公開しましたが、経理の職務では「自啓自発の精神で自分を磨くこと、正しく業務を遂行して会社と自分を守っていくこと」が身に付いたと思います。1996年からは総務部門を担当することになり、一転して守備範囲が広がりました。特に社外の様々なステークホルダーとの多くの渉外経験は目配り気配りの毎日でしたから、経理時代とは異なった意識の変化がありました。会社が各方面からいかに期待されているかを認識すると共に、企業の行動が社会の貢献につながることへの自覚、常に当事者意識・問題意識・危機意識を持つことの大切さなどを学び、成長の糧となった10年間でした。その後、監査室で内部統制の強化に従事し、海外関係会社の事業管理の指導などに注力しました。2011年以降はボードメンバーとなって経営企画及び管理部門全体を統括してきました。

入社した当時の世相は日経平均が1万円の大台にのり、プラザ合意で1ドル220円台になったという記事が踊りました。すぐにブラックマンデー、その後のバブル崩壊。アジア通貨危機やリーマンショックの発生。更には東日本大震災、近年では新型コロナウイルス感染症の流行…と、この約40年の間に国内外は大きな波の連続でしたが、それらを乗り越えての今があります。

「備えよ常に」という言葉を忘れることはありません。

## Q 社外取締役としての抱負をお聞かせください。

事業の力は、組織と組織が相互の役割を認識し、認め合い、協力しながら進めることで最大限に引き出されます。粘り強く前へ前へと挑戦し続ける風土が強い企業を作り出していきます。「現状維持は退歩の始まり」となります。

社外取締役を拝命してリオンの経営理念と向き合うこととなりましたが、これまでの経験を礎として、独立した客観的な立場からの監督機能を十分に発揮して、リオンの持続的な企業価値の向上に貢献できるよう努力して参りたいと思います。

最近、街路のリオネット補聴器の看板に気付くことが多くなりました。ニッチトップを目指すリオンの持ち味、伸びしろに期待が膨らんでいます。

## 1 TOPICS ハンディタイプの気中パーティクルカウンタ「KC-52A」を発売

リオンは、ハンディタイプの気中パーティクルカウンタ「KC-52A」を11月1日に発売しました。気中パーティクルカウンタは、クリーンルームの清浄度管理用として、半導体や電子部品の製造現場、病院等の医療現場などに幅広く使用されています。

「KC-52A」は、従来製品からの機能の拡充やシンプルな操作画面を実現するとともに、持ちやすさを追求したデザインや高精細な液晶タッチパネルによって、現場での使い勝手を向上させました。

「KC-52A」の詳細は、特設サイトと動画にて公開しています。

特設サイト https://www.rion.co.jp/product/particle/airborne/handheld_battery/KC-52A/special/

## 2 TOPICS 株主様アンケートWEB化のご案内

毎年、株主の皆さまのご意見を今後の経営およびIR活動に役立てていくために、アンケートを実施しています。このたび株主様のご要望にお応えするとともに、環境への配慮からアンケートをWEB化することとなりました。回答方法を参照いただき、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。ご回答をいただいた株主様に、3月上旬を目途に1,000円分の図書カードを贈呈いたします。

**※アンケートは、単元株主の方に限定しております。**

**▶回答方法**

右記のアンケートサイトにアクセスいただき、ログイン画面でIDおよびパスワードを入力のうえ、ご回答ください。

なお、ログインいただくためには、以下の情報が必要となります。

アンケートサイトはこちらです。
https://v.srdb.jp/6823/e/

**❶ ID：同封の配当金領収証の右上に記載されている株主番号がIDです。**
**❷ パスワード：証券会社にご登録いただいているご住所の郵便番号7桁（ハイフンなし）がパスワードです。**

**▶締切日　2024年1月31日（水）**



# 第103期第2四半期・製品別の概況

*First six months of the 103rd period by product overview*

## 補聴器

「リオネット補聴器」のブランド名で親しまれるリオンの補聴器は、高齢化の進展に伴う難聴者層の増加などを背景に、潜在成長力の高い補聴器市場において、お客様のニーズに寄り添った先進技術で業界をリードしています。

上期の業績は、社会活動の回復により来店者数が増加傾向にあるほか、既存顧客の買い替え需要の高まりによって、前年同期を上回る売上高となりました。

## 医用検査機器

医療の考え方が、治療から予防、さらに健康医学へと広がるなか、「検査」の役割はますます高まり、機器の多様化が進んでいます。大学病院の臨床検査や、人間ドックの聴力検査など、医用検査機器は多くの医療現場のニーズに応えています。

上期については、顧客である耳鼻咽喉科などの医療機関において設備投資が回復傾向にあり、オージオメータなどの販売が好調に推移したことなどにより、前年同期の売上高を上回りました。

## 音響・振動計測器

騒音計、振動計、地震計など、環境行政や産業の多彩なニーズにきめ細かく応える製品を提供し、国内外の環境・産業計測市場を支えています。

上期の業績は、国内市場において官公庁をはじめとした顧客による物価高騰等の影響に伴い設備投資を控える姿勢がみられたことなどにより低調に推移したものの、2022年11月に買収したNorsonic ASの業績が貢献したこともあり、前年同期を上回る売上高となりました。

## 微粒子計測器

微粒子計測器は空気や液体の中に浮遊する微粒子を計測しています。高い清浄度管理が求められる、半導体などの精密機械や医薬品、食品の製造現場では、微粒子計測器による微粒子管理が行われており、ユーザーからの高い信頼を得ています。

上期は、半導体関連市場において設備の新設や増強等の投資が堅調に推移し、半導体製造工場で使用される液中微粒子計測器の販売が好調に推移した結果、前年同期を上回る過去最高の売上高となりました。

# 会社案内 （2023年9月30日現在）
*Corporate Data*

## 会社概要

商　　号 …… リオン株式会社
本　　社 …… 東京都国分寺市東元町三丁目20番41号
創　　立 …… 1944年6月21日
資 本 金 …… 20億5,230万円
従業員数 …… 連結998名、単体495名（2023年3月31日現在）
事業内容 …… ○ 医療機器　・補聴器　・医用検査機器
○ 環境機器　・音響・振動計測器
○ 微粒子計測器　・微粒子計測器

## 株式情報

発行可能株式総数 ……32,000,000株
発行済株式総数 ……12,327,900株
総株主数 ……6,666名

## 大株主

| 株主名 | 所有株数（株） | 持株比率（%） |
|---|---|---|
| 一般財団法人小林理学研究所 | 3,130,700 | 25.43 |
| 株式会社日本カストディ銀行（信託口） | 1,314,700 | 10.68 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） | 1,089,800 | 8.85 |
| リオン取引先持株会 | 455,300 | 3.70 |
| 株式会社みずほ銀行 | 210,000 | 1.71 |
| リオン従業員持株会 | 197,400 | 1.60 |
| 株式会社三井住友銀行 | 150,000 | 1.22 |
| 日本生命保険相互会社 | 150,000 | 1.22 |
| THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044 | 144,200 | 1.17 |
| BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC) | 126,214 | 1.03 |

（注）持株比率は、自己株式17,361株を控除して計算しております。

## 取締役および監査役

代表取締役社長 ……岩橋　清勝
取締役会長 ……清水　健一
常務取締役 ……加藤　公規
取締役 ……篠﨑　利之
社外取締役（独立役員） ……築野　元則
社外取締役（独立役員） ……濱田　喜久子
社外取締役（独立役員） ……上田　麻理
社外取締役（独立役員） ……高橋　和伸
常勤監査役 ……中野渡　誠
社外監査役（独立役員） ……石谷　勉
社外監査役（独立役員） ……佐久間　善弘

## 所有者別株式分布状況（持株数）

# 株主メモ
*Stock Information*

**事業年度**　毎年4月1日から翌年3月31日まで

**定時株主総会**　毎年6月下旬

**基準日**　定時株主総会・期末配当　毎年3月31日
中間配当　毎年9月30日

**株主名簿管理人**　東京都千代田区丸の内一丁目4番1号　三井住友信託銀行株式会社

**郵便物送付先（電話照会先）**　〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

**住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**　株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、株券電子化の際、株券を証券会社の口座に入庫しなかったなどの理由により、特別口座において管理されている株式につきましては、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

**未払配当金の支払について**　株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## ● IRカレンダー

4月　5月　6月　7月　8月　9月　10月　11月　12月　1月　2月　3月

- 4月：決算発表
- 5月：決算説明会
- 6月：株主総会
- 7月：第1四半期決算発表
- 9月：第2四半期決算発表
- 11月：第2四半期決算説明会
- 1月：第3四半期決算発表

## 株主優待制度のご案内

期末配当基準日（3月31日）現在の株主様を対象に株主優待を実施しております。

### ジェフグルメカード（食事券）

100株以上▶　500円分
500株以上▶　1,500円分
1,000株以上▶　3,000円分
5,000株以上▶　5,000円分
10,000株以上▶　10,000円分
【追加】100株以上かつ3年以上継続保有※▶　1,000円分

※同一の株主番号で、毎年3月末と9月末の株主名簿に7回以上連続で記録された株主様を3年以上継続保有とみなします。

### リオネット補聴器購入割引券

100株以上

※メーカー希望小売価格の10%割引
（片耳購入の場合は1台分）
（両耳同時購入の場合は2台分）

有効期間：1年間

表紙の写真

# 残したい“日本の音風景100選”

**鐘の音が聞ける時間：**毎日4回(6時、12時、15時、18時)と8月6日、9日の原爆投下の時刻、大晦日の除夜の鐘

**住　　所：**埼玉県川越市幸町15番地7

## 埼玉県／川越の時の鐘

江戸時代に城下町として栄え、その面影を残す情緒あふれる街並みが人気の川越市。その中心地で時計が普及していない時代から暮らしに欠かせない時を告げてきました。3層構造で、高さ約16メートルの「時の鐘」は城下に時を知らせるとともに、火の見櫓として機能していた時代もありました。今もなお、「ゴーン」と低く響き渡る鐘の音は、小江戸・川越のシンボルとして市民に親しまれています。

この地は2005年にリオネット補聴器のCMを撮影した場所でもあります。「この国には、まだまだ、聴きたい音がある」をテーマに、補聴器をつけた主人公がご家族とともに「時の鐘」の音色を聞き、微笑む姿が描かれました。当社にとっても、馴染み深い場所です。

### 残したい“日本の音風景100選”

残したい“日本の音風景100選”とは、1996年に環境庁(現・環境省)が選定した「全国各地で人々が地域のシンボルとして大切にし、将来に残したいと願う音の聞こえる環境(音風景)」です。この100選には、小鳥のさえずりや海の波音、祭りの掛け声など、自然や人が作り出す様々な音が含まれ、北海道から沖縄まで、地域ごとの音風景が紹介されています。

**リオン株式会社**　〒185-8533 東京都国分寺市東元町3-20-41
TEL.042-359-7830(リオン株式会社 企画部 IR広報課)
**https://www.rion.co.jp**

UD FONT
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

FSC www.fsc.org
ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C022915

VEGETABLE OIL INK